

宅地造成工事が始まった「ゆめみの星 宮の森」をPRする内池代表取締役



室蘭・旧知利別小跡地

宅地造成工事始まる

分譲地は2020年3月に知利別小が閉校後、22年5月に市の一般競争入札で住まいのウチイケが落札。当初は解体費などを市が負担する「マイナス入札」の予定だったが、同社はプラスの金額で落札し、建物解体条件付き土地売却として買い取った。

校舎の解体工事は終わっており、宅地造成工事は9月末に完了する。検査・分筆を経て、11月から建築条件付きで分譲地の販売を開始する。敷地面積は1万6429平方㍍。1区画当たり約200～300平方㍍、価格は870万円からを予定している。

蘭東地区の中心部に位置しながら、周辺は閑静な住宅街で、公園や高校にも近く土地が平坦なものも魅力。内池代表取締役は「宮の森にこれほど大規模な工事は今後ないので、4社で連

室蘭市宮の森町の旧知利別小学校跡地で宅地造成工事が始まった。住まいのウチイケ、川田建設工業、宇佐美建設、内池建設による共同企業体(JV)が「ゆめみの星 宮の森」の名称で開発・販売を行つており、既に分譲予定の45区画中15区画が商談中といふ人気ぶり。住まいのウチイケの内池秀光代表取締役は「室蘭に新しい高級住宅街をつくりたい」と抱負を話している。

(奥野浩章)

携して素晴らしい景観のまちにしたい」と展望を語った。

問い合わせは住まいのウチイケ(16区画)電話0143・42局4118番、川

田建設工業(11区画)同47局9522番、宇佐美建設(同)同46局1020番、内池建設(7区画)同24局2020番へ。